



昭和大学歯学部だより

2025年2・3月号

通算第233号

令和6年度卒業式・学位記伝達式が開催されました

＜歯学部長 馬場 一美＞

令和6年度の昭和大学卒業式と学位記伝達式が、3月18日(火)にパシフィコ横浜において執り行われ、医学部107名、歯学部87名、薬学部178名、保健医療学部161名が卒業されました。厳粛な中にも慶びに満ちた卒業式では、早川優菜さんが歯学部総代として久光学長より学位記を授与されました。久光学長の告示、小口理事長のご祝辞では、変化、進化し続けることの重要性とともに、医療人として変わることなく、「至誠一貫」の精神で患者のために最善を尽くす医療従事者であり続けてほしいと励ましを賜りました。続く、学位記伝達式は、学部ごとに隣接のアネックスホールに移り、各人への学位記授与と特別表彰、記念品贈呈が行われました。4月には校名変更で昭和医科大学となります。昭和大学としての最後の卒業生となる皆様が、今後、素晴らしい人生を歩まれるよう祈念致しております。



- P.1 【令和6年度卒業式・学位記伝達式が開催されました】歯学部長 馬場 一美教授
- P.2 【令和6年度卒業式・学位記伝達式での表彰者】歯学部学生部長 野中 直子教授
- 【謝恩会が開催されました】歯学部学生部長 野中 直子教授
- P.3 【第118回歯科医師国家試験結果】D6 チューター会議 弘中 祥司教授
- 【令和6年度大学院春季修了式が開催されました】歯学研究科長 高見 正道教授
- P.4 【昭和大学で学んだ45年間を振り返って】口腔外科学講座 代田 達夫教授
- 【研究入門が実施されました】口腔生化学講座 塚崎 雅之教授
- P.5 【研究紹介】口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門 松田 幸子教授
- 【行事予定】広報委員長 柴田 陽教授
- 【編集後記】口腔生化学講座 山田 篤

令和6年度卒業式・学位記伝達式での表彰者

＜歯学部学生部長 野中 直子＞

卒業式・学位記伝達式にて以下の学生が表彰されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。今後のご活躍をお祈りしております。

卒業式	上條賞	早川 優菜	上條旗ヶ岡賞	村寄 智仁
	同窓会賞	伊藤 優馬, 中野 裕太, 中村 英里	スチューデントインストラクター賞	桐谷 七彩
学位記伝達式	教育委員長賞	種市 凌也	ストローマンアワード	齋藤 真奈美
	学生部長賞	酒井 倫太郎	日本小児歯科学会 学部学生優秀賞	新垣 汐音
	デンツプライシロナ・ スチューデント・アワード・プログラム	市川 裕大	モリタ補綴学賞	酒向 未久

謝恩会が開催されました

＜歯学部学生部長 野中 直子＞

3月18日(火)18時から東京プリンスホテルにおいて、歯学部43回生卒業生87名により謝恩会が開催されました。小口理事長、上條副理事長、久光学長はじめ来賓の先生方にご臨席いただき、歯学部の多くの教員が出席いたしました。祝宴は、卒業生の笑顔と心のこもったおもてなしで、会場の至る所で歓談が見られ、またひな壇に上がった教員ひとりひとりに、卒業生から花束の贈呈がありました。最後に、謝恩会実行委員長の春藤大輝君から教員や保護者の方々への感謝の挨拶があり、立派に成長された卒業生の皆様の顔を拝見し、嬉しい気持ちで胸がいっぱいになりました。卒業生の皆様の今後の益々のご活躍をお祈りしております。



第118回歯科医師国家試験結果

＜D6チューター会議 弘中 祥司＞

3月14日に第118回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全体の合格者数は2136名(合格率70.3%)で昨年に引き続き増加しました。本学の新卒合格率は97.7%, 既卒生を含めた全体合格率は92.9%であり, 全国歯科大学では2番目(私立歯科大2番目)という素晴らしい結果でした。今回は削除問題がかなり多く, 総得点が下がり, 結果が出るまで安心出来ない学生さんも多かったと思います。この結果は6年生皆さんの弛まぬ努力と6年間の努力の成果です。そして講義や学修を指導して頂いた多くの教員ならびに学務課など関係者皆様のご尽力の賜物でございます。このお借りして感謝を申し上げますとともに, 来年に向けて引き続き, よろしくお願い致します。

令和6年度大学院春季修了式が開催されました

＜歯学研究科長 高見 正道＞

令和7年3月25日16時より, 昭和大学上條ホールにおいて令和6年度大学院春季修了式が挙行され, 多くのご家族や大学関係者が見守る中, 久光学長より各研究科の学生代表に学位記が手渡されました。今回は, 医学研究科26名, 歯学研究科22名, 薬学研究科10名に博士の学位が, 保健医療学研究科7名に修士, 13名に博士の学位が授与されました。久光学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し, 歯学研究科長である私は「今後、皆さんは医療・教育現場のリーダーになるでしょう。リーダーには新たな道を開拓する行動力と, 部下や若手を育成する責任が求められます。どちらも大変ですが, 苦難を乗り越えて責務を遂行してほしい。」と述べました。昭和大学宣言と校歌斉唱の後, 各修了者に研究科長から学位記が手渡され, 記念撮影をおこないました。この度博士となられた皆様, 本当におめでとうございます。これからのご活躍を期待しています。



昭和大学で学んだ45年間を振り返って

<口腔外科学講座 代田 達夫>



私は歯学部4回生として1980年に昭和大学に入学しました。今から45年前の富士吉田の寮生活は、現在の価値観から言えば「自由放任」、悪く言えば「野放し」でした。当時、寮の周辺は文字通り森に覆われていて、周囲には遊ぶところが無かったため、授業には真面目に出席していました。授業が終われば剣道部で稽古、その後は剣道着のまま食堂に直行して夕食でした。そこまではまあ許されるのですが、部屋で仲間と麻雀をしたり、その他にも今では絶対に許されないようなことも、当たり前のようにしていました。しかし、当時の仲間の多くが今も学内外で優れた医療人として活躍されており、仕事上においても緊密な交流が続いています。今振り返りますと、富士吉田の寮生活こそが昭和大学同窓生の大きな財産であると確信しています。最後に、昭和大学歯学部のさらなる発展を心から祈念しております。

研究入門が実施されました

<口腔生化学講座 塚崎 雅之>

3月3日(月)から3月12日(水)、「研究入門」(選択科目・実習)が基礎系講座で実施されました。「研究入門」は、専門性の高い研究に直接触れることにより、歯科医学が科学的根拠の上に構築されていることを理解し、研究の持つ魅力や奥深さを多くの学生に知ってもらうことを目的としています。今年度は2年生からは14人、3年生からは8人が参加しました。最終日には研究報告会(口頭発表:発表時間6分、質疑応答4分)が行われ、参加学生および基礎系講座の教員および大学院生により活発な討論が行われました。今回の実習が、単なる知識の習得にとどまらず、未知の課題に挑戦し、自らの探究心を刺激することで、研究の面白さを感じるきっかけになることを願っています。



研究紹介

～口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門～

＜歯科放射線医学部門 松田 幸子＞



歯科放射線医学部門では、加齢による舌骨の位置変化の傾向についての分析、各大学の歯科放射線科における研修医の研修状況や内容についての調査、口内法エックス線撮影における骨密度の分析などを行っています。調査結果から高齢男性では、舌骨が有意に下方に認められる傾向があり、これが男性にむせやすい理由のひとつではと考えています。今後は2次元画像に加えて3次元画像を用いた気道や軟組織の分析を行い、加齢や性別による舌や咽頭腔の形態変化について調査していきたいと考えています。3次元の仮想空間での手術に役立つような情報提供や、術前にトレーニングするための3Dモデルの作成についても着手していきたいと思っています。

行事予定

＜広報委員長 柴田 陽＞

- 4月 5日(土) 大学院春季入学式
- 4月 9日(水) 昭和医科大学入学式
- 4月10日(木) 昭和医科大学入寮式

編集後記

＜口腔生化学講座 山田 篤＞

2025年4月1日より本学は昭和医科大学へ校名が変更いたします。これに伴い「昭和大学歯学部だより」も次号より「昭和医科大学歯学部だより」へ名称を変更いたします。2003年の創刊以来、これまで編集委員として何度か編集に携わらせていただきましたが、今回は「昭和大学歯学部だより」として最後の号となるため、少し特別な思いでおります。末筆ながら、お忙しい中ご寄稿くださいました先生方に、心より御礼申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算233号 2025年3月発行

発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽

2・3月号編集委員：山田 篤（広報委員会）

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000

ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp